

校長室だより第 28 号（令和 7 年 10 月 8 日）

6 年生修学旅行の続き③

いろは坂をバスで上り、華嚴の滝へ。エレベータで 100m ほど下り、ひんやりとした通路を通り抜けると、展望台へ。そこには迫力ある風景が広がっていました。子どもたちも暫し、言葉を失ったように大きな滝を見上げていました。

昼食を済ませ、千葉に向けて帰路につきました。約 4 時間のバスでの移動となります。

帰りは DVD を見て過ごす場合が多いのですが、私が乗った 2 号車は違いました。バスレク担当者が、なぞなぞやゲームを行ってくれたからです。

なぞなぞは簡単なものばかり。それがいいのです。なぜなら、皆が気軽に参加でき、リズムよく進行できるからです。バスの中で難しいなぞなぞが出題されたことを想像してみてください。車内がシーンとなるか、考えることをあきらめた子どもたちがおしゃべりを始めるかだと思われます。前者は、気持ち悪くなる子が出現しそうです。後者はレクがうまくいきません。簡単な問題のおかげで、誰もが手を挙げ回答します。自然と盛り上がります。

担当者はそれをわかっていて「簡単ななぞなぞ」を出題したのでしょうか。教師から指導されたのでしょうか。たとえ指導があったとしても、運営するのは簡単ではありません。いずれにしてもすばらしい。

ゲームは「クラス対抗早口言葉大会」でした。ルールがわかりやすい上、失敗が累積すると簡単な罰ゲームがあり、早口言葉を言う人にも、それを聞く人にも緊張感をもたらしました。早口言葉を言う前には全体が静かになり、成功すれば拍手が、失敗すればよい意味での笑いが起きました。

担当者の仕切りが上手だっただけでなく、ゲームが進行する中で、担当者の発言に上手に合の手を入れる人物が自然と現れました。そうすると、さらにゲームは盛り上がります。

気が付くともう千葉県。あっという間の 4 時間でした。40 年に及ぶ私の教員生活の中で、1・2 番を争うすばらしいバスレクでした。

「さすが小倉小学校の6年生！」と大きな拍手を送りました。

あっという間の2日間でしたが、大きく体調を崩す子もなく、無事に帰ってくることができて良かったです。保護者の皆様、準備等様々なお協力ありがとうございました。